

高知県 P T A 新聞

〈発行所〉
高知県小中学校 P T A 連合会
塩見記念青少年プラザ内
高知市小津町6-4
TEL 802-7004
FAX 802-7009
E-mail
ken-p@kochinet.ed.jp

〈発行責任者〉
岡 林 拓 也
広 報 委 員 会

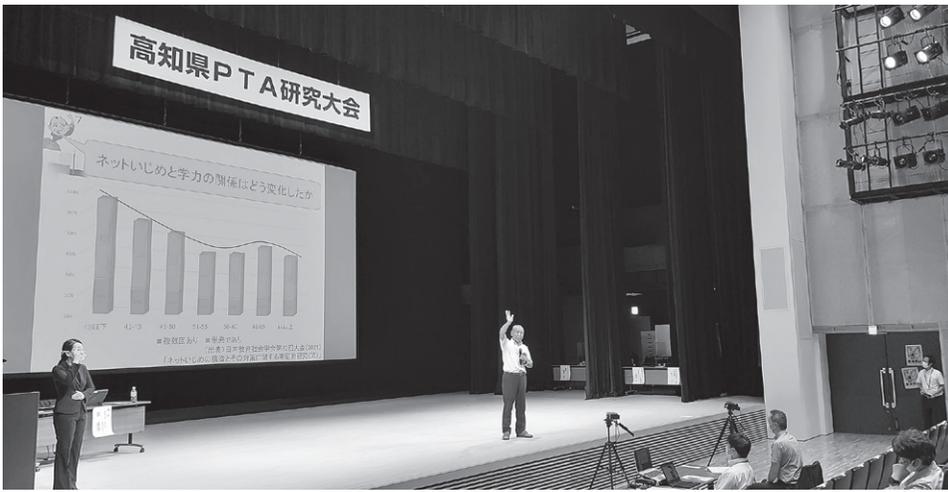
高知県 P T A 研究大会に参加して

高知県小中学校 P T A 連合会 副会長 門 脇 正 岳

令和四年八月二十八日、土佐市複合文化施設「つな」にて高知県 P T A 研究大会が開催されました。コロナ禍のなか、会場とオンラインというハイブリッド形式で感染対策を十分に取って、無事開催す

ることができました。開催準備に携わって頂いた関係者の方に厚く御礼申しあげます。また、当日は各 P T A 会員、教育関係者の方に多数ご参加頂きありがとうございました。今年、研究主題を「学

校・家庭・地域から子どもを育ちを考える」として開会しました。開会行事の後、高知県教育委員会事務局から変わりゆく教育方針の説明と自転車乗車時のヘルメット着用の推進について



お話がありました。現代の教育は私たちが学生の頃のような詰め込み教育ではなく、考えることに重きを置いた探究型の教育に変わりつつあります。子どもにも勉強を教える時、変わらなければならぬのは私たちおとなも変わりません。ヘルメット着用推進については、過去の事例や経験者の話を聞きヘルメットの重要性について学びました。思春期の学生には格好が悪い。髪型が乱れる等マイナスのイメージが先行しますが、命に関わる頭部を守る防具としてぜひ推進していきたいと思えました。県教育委員会からの説明が終わり、楽しみにしていた佛教大学副学長原清治先生の講演です。今年で三回目の講演ということですが、私は初めて拝聴しました。以前講演を聞いた方から話も面白いし、内容もためになることばかりと聞いてハドルをあげた状態で聞くこととなりました。端的に言う「面白かった。また聴きたい。」です。

今年のテーマは「子どもにどう寄り添うか」（ウイズコロナの時代を生きる子どもの実態調査から）。まず最初に自己紹介です。佛教大学の副学長で著書も多数出版しているというだけで、凄い人というのわかりますが、自分の容姿をいじったり、サイン本が三百円で売られたりと、自虐ネタで聴衆の心をがちり掴んで始まりました。高知に恩師が居られたこと、新子が大好きということできっとまた来年も来てくれると思うので、みなさん来年こそは足をお運びください。前段が長くなりましたが、講演内容に触れていきたいと思えます。原先生は副学長でありながら大学では講義もして、ゼミも持っています。コロナの姿も以前よりは分かってきて、今年の四月から対面授業が始まったとのこと。しかしながらオンライン授業に慣れた学生が戻ってこない、と。学校に行くことが面倒・友だちがいなくて、人間同士の繋がりが面倒など理由はさまざまです。そんな大学構内では「よっ友」という希薄な友人関係が築かれているようです。共通の話題がなく「よっ」と声をかけるだけの友だち？です。私たちの世代では考えにくいですが、これがオンライン授業のもたらした人間関係なのです。

コロナにより不登校も増加しています。以前は登校拒否と表現していた、勉強が嫌い・明確ないじめ等わかりやすかったのですが、現在の不登校は理由が多岐に渡り解決方法さえわからないという危機的な状況です。学級崩壊をしているクラスには絶対的権力者が居り、自由に発言できない状況にあるということ。原先生曰く、こういう状況を「地場が壊れている」と。お子さんのクラスの地場が壊れていないか、参観日はぜひ前から見てください、とのことでした。

ネットいじめは五年前から変化が見えました。今、勉強ができる子・スポーツができる子が辛い思いをしていることがあります。これは褒められる・認められる機会が少なくなってきたからだと思います。また、できる子は期待に応えようとします。一生懸命頑張っている子には寄り添って褒めてあげてください。そして辛い時には「しんどい」と言える環境を作り共感してあげることが大切だと思います。原先生の好きな言葉に「おとしどころ」という言葉があります。これは私も好きな言葉ですごく響きました。先生はアサーションと表現しています。が、これは相手の意見を尊重しながら、自己主張もしていくというコミュニケーションスキルです。先生は講演中ずっと発言者の意見をまず肯定し、その後、確信を強く先生の意見を聞かせてくれました。

原先生の講演の後、今年インタビューダイアログという対話形式で講演を振り返りました。PTA保護者の代表の質問に原先生が応えてくれました。同じ親として良い質問ばかりで、先生の回答も的確・明確で今後の子育てに活かそうと思えました。たくさんメモしましたが、そのなかから一つ。「職業世襲論」子どもは親の仕事を見ています。追います。そんな子どものために親は家に帰って仕事の愚痴ばかり言わないでください。どんな仕事だって、尊敬する親の姿ですからね。たくさん良いお話を聞かせてもらったので、来年も美味しい新子で原先生をお招きしてみませんか。是非先生の声を聴いてください。

県P連からのお知らせ

二〇二二年十二月十日(土)
「土佐の子育て交流会」

講師 川上 確也氏(いの町立川内小学校校長)
演題 子育てに活かす自己理解・他者理解の手法



東京海上日動火災保険株式会社

高知支店・高知支社

〒780-0870 高知市本町4-1-16 高知電気ビル6階 TEL088-823-2575

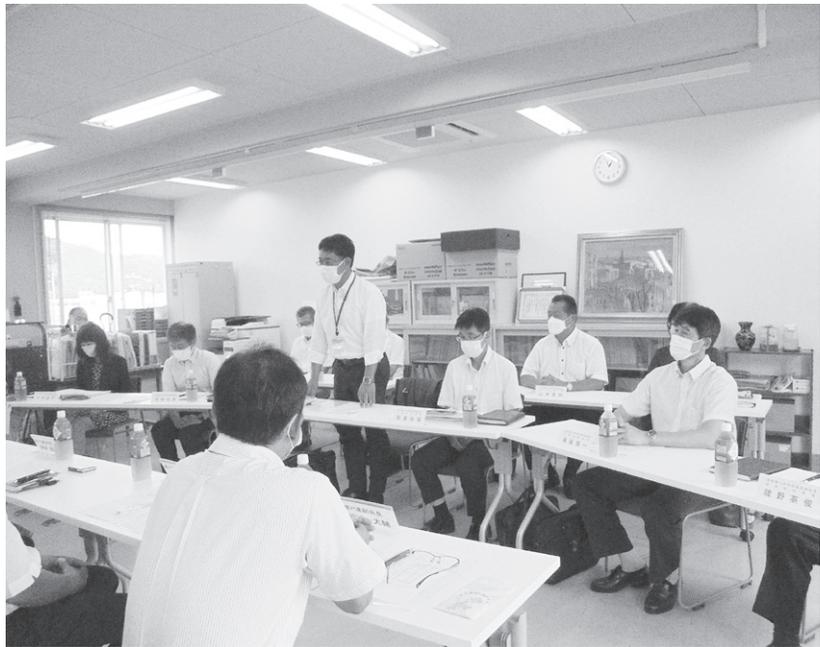
損害保険ジャパン株式会社 高知中央支社 〒780-0870 高知市本町2-1-6 TEL088-822-6202

高知県小中学校校長会との懇談会

高知県小中学校PTA連合会副会長 濱端 玲蘭

八月一日(月)、高知県教育委員会生涯学習課を交えて懇談会が行われました。

この懇談会は、高知県小中学校PTA連合会と高知県小中学校校長会の各役員が意見交換を通じて相互に理解を深めることにより、当面する本県の教育課題解決と二十一世紀を心豊かに生き抜く児童・生徒を育てることのできる教育の確立を目指し、一層の連携を図ることを目的に開催されました。



のあと、出席者の自己紹介を行いました。

校長会会長 瀬戸校長(伊野南小)から紹介された詩が心に残りました。『やまも第四十六集』「大きな声でさげびたい」という詩です。コロナ禍で子どもたちにある本当は大きな声で応援したいと言う気持ちが強く感じられ、胸が熱くなりました。次に、高知県小中学校長会の活動方針、研究課題、活動の重点、行事予定が報告されました。校長会には調査研究部、対策部、情報宣伝部と三つ

の部門があり、活動を行っていることや、全連小・全日中総会、県内外の懇談会、協議会、研究会など多くの行事に参加しているとの報告がありました。校長先生自身も役員になってからさまざまな行事があることを知ったそうです。

そこで、出席者より行事の多さによる業務負担の有無について質問がありました。それに対して、負担が全然ないとは言えないが、数年前より行事ごとに、役員が割り振りされおり、ある程度の子想や覚悟をして計画的に準備ができ、地域で、急に決まるよりは負担は少ないとのことでした。

ここからは色々な課題についてざっくりばらんに意見交換を行ったので、ご報告します。

【教職員の残業について】 残業している教職員は少なくないそうです。教員は子どもが少しでもわかりやすく理解できる授業を考え、自分の納得のいく資料や教材を作っているために残業になっていることが多いと知り、先生方の子どもに対する熱意を感じました。精神的・身体的不調により休

職している教職員もおり、職員を守るため、働き方改革を今後も検討していくとのことでした。

【SNS、いじめ問題】

近年はSNSトラブルが増えてきており解決が難しい状況も発生しているそうです。学校外でのトラブルに先生方が対応していることも少なくなく、ネット、ゲームの規制など家庭の教育力がとも必要になってきていると感じました。

【コロナ禍での学校行事】

今年になり行動制限が緩和され、学校教育活動も実施できるようになってきています。今後は保護者や地域の方に見て頂くために、行事等を実施できるように前向きに考えていると報告がありました。

【公立中学校の部活動の地域移行】

なかなか難しい地域もあると思われませんが、保護者・地域が関わって子どもたちを支援することができると教育効果は高くなると話されています。

校長先生方が「学力の保障や子どもたちの生きる力、育む力をつけて行きたい」という子どもたちへの熱い思いを持って学校経営をされていることを知りました。

今回の協議したことを各学校、各PTAに持ち帰り、PTAとしてできることについて考えていきたいと思っています。

ご存知ですか？

自転車事故による損害額は

極めて大きくなる場合があります！

近年、自転車事故における高額賠償判決が下される記事をよく見かけます。

【東京地裁・二〇〇七年四月十一日判決・賠償金額五、四二八万円】

信号無視した男性の自転車が、青信号の横断歩道を歩行中の女性に衝突し、死亡させた。

【大阪地裁・二〇〇七年七月十日判決・賠償金額三、〇〇〇万円】

前方不注意かつライト不点灯で走行していた未成年者(事故当時十五歳)の自転車が、歩道を歩行中の男性に衝突し、死亡させた。

【神戸地裁・二〇一三年七月四日判決・賠償金額九、五〇〇万円】

二〇〇八年、小学五年生(事故当時)男子児童が運転する自転車が発歩中の女性に衝突。女性には頭の骨を折るなどして意識が戻らない状態となった。

被害者が死亡してしまった場合には、遺族は被害者が生きていれば得られたであろう額に慰謝料を合わせた金額、重度障害が残った場合には一生にわたる介護費用の額などを加害者が負担する責任が生じることから、高額な賠償命令が下されるのです。

小さなお子様が加害者になった場合、「親としての監督義務を怠っていた」と捉えられることがほとんどですので、みなさまのお子様がかうした事故の加害者・被害者にならないためにも、日頃から家庭での自転車運転指導を心がけて頂きたいと思えます。

合補償制度には、おかげさまでままして二〇一九年度実績では、一九四二名(全生徒に対する加入率六・六三%)のお子様にご加入頂いております。



2022年度用 高知県小中学校PTA連合会の保護者の皆様へ

1年ごとの自動更新

高知県小中学校PTA連合会

こども総合補償制度ご加入のおすすめ

(団体総合生活保険)

在学中の様々な危険から、大切なお子様をお守りし、安心して学校生活をおくられるように、団体総合生活保険をご用意いたしました。保険料は、団体割引15%、損害率による割引15%が適用されますので、ぜひ、この機会にご加入くださいようお願いいたします。

団体割引等の適用により
割安な保険料
3,000円から!

団体割引 **15%** 損害率による割引 **15%**

個人賠償責任は **国内無制限!**

安心のサービス
24時間無料の緊急医療相談などのサービス
メディカルアシスト等

示談交渉サービス

保険期間 **2022年5月1日午後4時～**
2023年5月1日午後4時

<お手続きの方法> 同封の「加入依頼書」を申込締切日までに返信用封筒でご返送ください。

申込締切日 **2022年4月20日(水)**
(消印有効)

掛金引落日 * **2022年6月27日(月)**

*掛金は上記引落日に加入依頼書にてご指定いただいた口座より引落いたします。方が引落不能の場合にはご通知いたしますので、7月27日までに掛金をお支払いいただきますよう、お願いいたします。期日までにお支払いいただけない場合は、保険期間が始まった後でも事故に対して保険金をお支払いできず、お支払いした保険金を回収させていただきますのでご注意ください。

注意 中学校に進学される皆様へ 小学校でご加入頂いた方は一旦終了となり自動継続されませんので、同封の加入依頼書にて新たに加入手続きが必要です。
この保険は東京海上日動火災保険株式会社を幹事とした共同保険契約です。引受保険会社及び引受割合等については、「重要事項説明書」をご確認ください。